



# 消防学校 ニュース



令和2年7月号

## 初任科 校長通常点検

## ついに来た！

初任科生が入校して3か月が経過し、この間、毎朝欠かさず通常点検を実施してきました。通常点検とは、職務遂行に必要な諸般の状況を検査し、その不備の点はこれを整備又は反復訓練して是正し、もって消防活動に際し有効適切な措置をとらせることを目的に、人員、姿勢、服装、手帳等の点検を行うものです。

7月2日（木）、ついに校長による通常点検が実施されました。担当教官、教務課長の点検を経て、毎日だった通常点検は校長による点検の実施から週1回になり、外出も週に1回ですが許可されます。校長点検は学校に慣れてきた初任科生にとって大いに気が引き締まる通過点です。



初任科生屋内訓練場に全員整列



緊張する初任科生たち



塩崎校長からの訓示です

## 初任教育初任科第91期 ～基本なくして応用なし～

初任科第91期も約3か月が過ぎ、学校内の寮での集団生活を学びながら訓練もいよいよ本格化してきました。133人全員健在です。

座学では基礎教育の「サービスと勤務」、実務教育の「安全管理」「消防機械・ポンプ」「救急(基礎知識)」「建築・設備」などを学び、実科では、「機器取扱訓練」「救急実技」「訓練礼式」「消防活動訓練」などに日々取り組んでいます。



機器取扱訓練



救急実技



訓練礼式

## 新任教官紹介

## ～期待しています！～

今年度、消防学校に新たに加わった教官6人衆を紹介します。消防学校では初任科生とともに教官の成長も大変楽しみです。慣れない仕事で大変だと思いますが、教官との出会いが初任科生たちに良い影響を与えていると感じている今日この頃です。

派遣教官につきましては、職員を派遣していただいている消防本部には心より感謝申し上げます。

消防学校教官に赴任して3か月が過ぎ、新しい生活、教官業務にも慣れ、楽しい日々を送っています。

初任科教育では4月下旬から座学を担当し、初任科学生が所属で任務に就いた時に困らないようにと講義内容を組み立てました。効果測定の採点をしている際に、ここだけは全員覚えてくれと教えていたところが、133人全員正解していた時は学生の努力に大きな喜びを感じました。

また、実科訓練を振り返り、技術向上のために自主的に指導をお願いしてくる学生も多くなり、学生が日々成長していく姿を見てやりがいを感じています。

「学生ができないのは教官の責任」という思いで、自分自身の知識、技術、教育技法を高め、学生とともに成長していきたいと思えます。

教務課 主査 埴淵 茂樹（浜松市消防局から派遣）



埴淵教官



竹ノ内教官

消防学校教官として派遣され3か月が過ぎ、初任科教育は後半を迎えました。初任科生の成長過程を見ることで、教育機関に携わることのやりがいと責任を感じています。

消防職員としての知識や技術の習得は当然ながら、自ら「見る・聴く・考える・行動する」ことができる人間を育て、本質である「人間力」を磨き、一人前の消防士として各所属に送り出したいと考えています。

自分自身も初任科生をはじめ、学校教官、外部講師のすべてから、たくさんの刺激や気づきを受けて成長したいと思っています。

教務課 主査 竹ノ内 創（駿東伊豆消防本部から派遣）

念願の教官として派遣されてから3か月が経過しました。想像以上に教育訓練は難しいものではありますが、「教えることは学ぶこと」を心に刻み、日々の訓練に励んでいます。また、初任科生133名の真剣な眼差しは、消防人として頼もしいものがあり私に活力を与えてくれます。初任科生には消防人として必要な知識、技術の習得はもちろんのこと、「人間力」を育てられるように教官として伝えていきたいです。私も学生も「日進月歩」、共に成長していきたいと思えます。

教務課 主査 森下 善弘（御前崎市消防本部から派遣）



森下教官

消防学校教官として教務に携わり、気が付けば早3か月が経過してしまいました。初任科学生の成長は、消防吏員として前に進み続ける私の良い追い風となっています。

学生が現場で活躍する姿を楽しみにしていますが、教え子が危険な現場に行くのに不安があるのも本音です。

私が積み上げてきた知識と技術を時間が許す限り還元し、学生の消防財産の一部になればと思っています。

3年と短い派遣期間ですが、携わる全てを吸収し自己の成長にも繋げていきたいと思っています。

教務課 主査 田島 貴俊（富士市消防本部から派遣）



田島教官



早川教官

学校教官として3か月が経過し、「人に教え、伝える」人材育成という職務にやりがいや難しさを感じています。

初任科生には、訓練等で教科書だけでは学べない多くの「気づき」を与え、「学び」に変え、たくさん経験をして成長できるよう指導していきたいです。

教官と学生と立場の違いはありますが、同じ志を持った者同士、互いに成長していきたいと思っています。

教務課 主査 早川 淳（磐田市消防本部から派遣）

消防学校に赴任してから3か月が経過しました。当初は、消防学校の教官を拝命したことにプレッシャーを感じていましたが、今は消防行政の最前線、中核を担う方々と一緒に仕事ができる、やりがいのある職場だと思っています。

また、私の赴任と同時期に入校した学生（初任科第91期）たちの成長を見て、学校教育の大切さや素晴らしさを体感しています。

学生と共に日々勉強し、よりよい教育が提供できるようがんばります。

教務課 主任 谷澤 俊光（県職員）



谷澤教官

# 塩崎ぜっ校長

ワンチョット(チョイネタ)コーナー  
今月のつぶやき



## ★ 還暦を迎えて思う

6月の末に60歳の誕生日を迎えた。還暦である。働き始めて35年以上、無事とは言い難いが、何とかここまで来られた。

県職員としての生活の約半分が防災危機管理業務で、その半分が消防業務であった。

前所属の下田では、3年間、地域防災を担当した。

やはり、地域の安全を守ることの大切さと責任の重さを痛感した。

思えば、猛烈な3年間でもあった。

「ゴールデンボーイ危機また危機」(※1)ならカッコ良かったが、

「ノーテンキオヤジ撃沈また撃沈」…

最近の同年代の友人たちとの話題は、「加齢による衰えや体の不調自慢」「定年後の仕事や楽しみ」

「退職金、年金、ローン」等々である。

1年前の「ぜっ校長」でも書いた「歯の治療」は、最後のクリーニングの段階で逃げ出したが、ほぼすべて終わり、快適な食生活を送れている。

今、こうして元気でいられるのも、家族、先輩、友人、同僚のお陰である。

感謝の気持ちをずっと忘れずに持っていたい。

消防学校の勤務では、消防の大切さを日々実感し、厳しい訓練に励む若者達から元気ももらっている。

これからも、日々、明るく生きていければ、とても幸せだと思う。

(※1) マカロニウエスタンのスター ジュリアーノジェンマ

主演のアクション映画

6階級制覇のオスカーデラホーヤではありません

次号は、特別教育水難救助科の様子を中心にお届けします！お楽しみに！



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1  
☎ 054-369-1190 FAX: 054-369-1197 E-mail: [fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp)

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校

検索

